



戸塚共立あさひクリニック
形成外科
ふくしま かずみ
福嶋 佳純 医師

【専門分野】
形成外科

【資格・所属】
日本形成外科学会専門医
日本形成外科学会
日本創傷治癒学会
日本口蓋裂学会
日本美容外科学会

形成外科とは？

形成外科はどんなことを治療する科なのか、なかなか馴染みがないかもしれません。日常の診療でも、「整形外科や皮膚科と何が違うの？」「病院によって形成外科がないところのほうが多いけれど・・・」「そもそも形成外科って何を治療する科なの？」といった質問をいただくことが多々あります。

そんな形成外科ですが、意外にも海外では外科の中で最も古くからあるのです。紀元前6～7世紀頃、インドの処刑法のひとつである「鼻切り」の修復手術を額の皮膚を使って行われていたり、西暦紀元頃には、ローマや中国で顔面の手術が行われていたことが記録として残っています。それに対して日本では、儒教や武士道精神から、外見を云々言うことがはばかれる時代が続き、形成外科という名称が確立されたのが1958年と極めて歴史が浅いのです。また、現在でも、日本形成外科学会に登録されている形成外科医は全国で約4400人しかおらず、日本の医師の総数約28万人に対して約1.5%に過ぎません。形成外科を標榜している病院の数も、全国の病院総数に対し13.2%しかなく、そのために、形成外科のある病院が少ないのです。

形成外科で専門的に扱う疾患

他の科と重複する場合もありますが、専門的に扱う疾患は以下に分類されています。

- ① 熱傷(やけど)
- ② 顔面骨骨折、顔面軟部組織損傷(けが)
- ③ 口唇口蓋裂
- ④ 手足の先天異常、外傷
- ⑤ その他の先天異常
- ⑥ 母斑、血管腫(あざ)、良性腫瘍
- ⑦ 悪性腫瘍・再建
- ⑧ 瘢痕(きずあと)、瘢痕拘縮(きずのひきつれ)、ケロイド
- ⑨ 褥瘡、難治性潰瘍
- ⑩ 美容外科
- ⑪ その他 眼瞼下垂、腋臭症(わきが)、陥入爪など

上記のなかには専門的な治療やチーム医療を要する疾患もあり、その場合には、大学病院などをご紹介させていただいています。

当院でお受けすることの多い疾患

1.皮膚腫瘍(良性)



いわゆるほくろに始まり、様々な種類がありますが、治療は小さいものであれば切って縫い縮める方法になります。このとき、傷跡はどうしても残りますが、それがなるべく目立たないものになるよう、傷の幅が最小限になるような縫い方をしたり、傷跡を皮膚のしわに一致させるなど、工夫を施しています。

2.眼瞼下垂



手術前



手術後

神経麻痺や内科系の病気があれば、まず内科での治療を優先させます。まぶたの垂れ下がりが、加齢によるものだったり、神経の麻痺が最終的に残った場合、形成外科にて手術を行います。まぶたの皮膚や筋肉の状態により、治療方針を決めます。

3.糖尿病性潰瘍



手術前



手術後

この場合の治療は、内科で血糖をコントロールしてもらうことを最優先とし、同時に抗生剤で炎症を抑えます。そして血糖が安定したところで、潰瘍が大きければ植皮などの手術を行います。

形成外科の治療は、形態的機能的に不具合が改善されるばかりでなく、その患者さんの気持ちも前向きになり、効果が何倍にもなって現れることだと実感しています。今後もそのお手伝いを日々積み重ねていく所存です。

戸塚共立あさひクリニック 形成外科外来

受付時間

平日 午前8:00～12:00 午後12:30～16:00
休診 火曜午前・木曜・金曜午後・土曜

☎ 045-864-2565 (代表)